

みんなのぎかい

すもと市議会だより

2020.1.15 Vol.54



新年を飾る

中川原小学校では、正月の伝統を受け継ぐため、毎年地域の方の協力でしめ縄づくりに取り組んでいます。

CONTENTS

- 11月臨時 市議会の概要……(2)~(4)
- 12月定例 一般質問……(5)~(10)
- 行政視察報告……(11)
- 議会報告会・議会懇談会……(12)
- 新年あいさつ・議員研修……(13)
- 意見交換会……(14)



12月定例市議会

どうなる!? 今後の公共施設のゆくえ

本市では、公共施設などの全体の状況を把握し、

長期的な視点をもって、

統廃合や長寿命化、更新などを計画的に行うこと

で、財政負担を軽減し、

現在と将来の納税者の負担を公平化するとともに、

公共施設などを最適な配置にしていくため、今後の方針などを記した「

本市公共施設等総合管理計画」を策定しました。

人口減少、少子高齢化の中、限られた財源で持続可能なまちづくりをしていくためには、

将来を見据えて公共施設などのあり方を考えなければなりません。

施設の統廃合は今後進んでいくのが避けられない中、

次の3施設は民間へ譲渡し、

新たなスタートを切ることとなりました。

11月

条例の廃止 …… 1件

財産の譲与 …… 1件

12月

補正予算関係 …… 10件

条例関係 …… 6件

財産の譲与 …… 2件

人事案件 …… 1件

その他 …… 3件

議員提出の
条例改正 …… 1件

意見書 …… 3件

旧鮎原診療所

▼譲渡先

たかたクリニック

▼理由

廃止した診療施設を活用し、継続した地域医療を提供するため。

▼今後の予定

必要な改修工事を行い、令和2年4月1日までに診療業務開始予定。



旧洲本保育所

▼譲渡先

社会福祉法人三愛会

▼理由

廃止した保育施設を活用し、市街地での0～2歳児までの乳幼児受け入れを拡充するため。

▼今後の予定

施設修繕、整備の終了後、令和3年4月1日までに開園予定。



洲本市水産資源育成施設

▼譲渡先

由良町漁業協同組合

▼理由

施設は由良地区に所在しており、同地区唯一の組合に譲渡することによって、効率的に稚魚・稚貝など生産育成し、漁業経営の向上を図るため。

▼今後の予定

譲渡に向け調整中。



議案審査のポイント

ポイント1 議案第33号
旧アルファビアのリノベーション

Q 旧アルファビアのリノベーション業務委託として、2億9500万円が計上されているが、コストセプトや工事内容は、

A〔「情報部」〕人々(市民や観光客)が交流し、賑わいを生んでいける施設にしたい。工事内容などは検討中であるが、債務負担の2億9500万円を上限として事業を行う。

ポイント3 議案第47号
農業委員報酬の改定

Q 農業委員会委員などの報酬はどのように改定されるのか。

A〔「農業委員会」〕条例が施行される令和2年4月1日より、会長、会長職務代理者、地域代表委員・委員・農地利用最適化推進委員には、新規月額報酬に加え年額の報酬が支給される。会長は現在と同額、他の委員は実質増額となる。

ポイント2 議案第33号
好調なふるさと納税

ふるさと納税の4月からの累計が12億円を超え、それに伴い、ふるさと洲本もつとんど応援基金事務事業費を、返礼品の購入やサイトやクレジット払いの手数料として、1億3860万円追加

要望事項
教育民生常任委員会では議案第49号について、次の要望を行いました。
保護者のニーズを鑑み、適正な定員管理に留意するとともに、乳幼児の保育環境の充実に努められたい。

洲本市議会議員 政治倫理条例を改正

提案内容

第3条第1項第6号の次に、次の1号を加える。

〔7〕勤務中の市職員に物品等の販売、勧誘、配達、集金等をしないこと。〕

提案者

上田昌孝、高島久美子、先田正一

賛成

▽小松 茂(宙)

日本共産党の議員が、勤務中の市職員に党の機関紙「赤旗」の配布と集金を行わせたことが明らかになったことからの提案。職務と無関係な「赤旗」の配布、集金は市職員の職務専念を妨害するもので許されない。

▽高島久美子(宙)

共産党の機関紙購読にあたっては、みんなが取っているとの同調圧力や、断ったら悪いという思いからのことが多いと思う。現代はそのような圧力は感じなくて良い時代である。

▽先田正一(公明党)

近頃、全国では、勤務中の市職員に政党機関紙や物品などの販売・勧誘・配達・集金などの行為を市庁舎内で全面禁止する自治体が増えている。本市でも、市庁舎管理規則違反が疑われる以上、議員としては自粛すべきである。庁舎外まで規制するものではない。

反対

▽近藤昭文(日本共産党)

市庁舎内の政党機関紙の取り扱いについて、「問題がある行為」と指摘され、その後、庁舎管理者との協議、調整を行い、解決して現在に至っている。庁舎管理規則に沿って対応しており、条例改正する必要はないと考える。

▽片岡 格(日本共産党)

すでに庁舎管理規則に沿った対応を取っており、問題はない。さらに条例に7号を加えることにより、議員活動の権利を狭め、憲法で保障された個人の思想、信条、政党の政治活動の自由侵害につながるとして反対。



議会日程

令和元年	11月29日	告示 常任委員長会
	12月3日	議会運営委員会 議会報編集特別委員会
	12月6日	本会議第1日(提案説明)
	12月10日	本会議第2日(一般質問5議員) 議会運営委員会
	12月11日	本会議第3日(一般質問4議員)
	12月12日	本会議第4日(一般質問3議員)
	12月13日	産業建設常任委員会
	12月16日	教育民生常任委員会
	12月17日	総務常任委員会
	12月18日	議会運営委員会
	12月19日	本会議第5日(採決)
令和2年	1月6日	議会報編集特別委員会

意見書

地方自治法第99条の規定に基づき、次の意見書を関係機関へ提出します。

1. 新たな過疎対策法の制定を求める意見書
2. ゴルフ場利用税の堅持を求める意見書
3. 防災・減災・国土強靱化緊急対策事業等の事業期間延長を求める意見書

12月定例市議会 議決結果一覧

賛否のわかれた議案等

※議長(木下義寿)は表決には加わらない。
しかし、賛否同数時のみ表明し、議案の賛否を決定する。
○は賛成、×は反対、欠は欠席。

提出者	件名	議員名	議決結果	近藤 昭文	間森 和生	中野 睦子	小野 章二	高島 久美子	清水 茂	柳川 真一	小松 茂	片岡 格	狩野 揮史	先田 正一	笹田 守	木戸 隆一郎	上田 昌孝	地村 耕一良	福本 巧	氏田 年行	
議員	市議会議員政治倫理条例の一部改正		原案可決	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○

全員賛成の議案等

提出者	件名	提出者	件名
市長	議案第33号 一般会計補正予算(第2号)	市長	議案第46号 下水道条例の一部改正
市長	議案第34号 国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	市長	議案第47号 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
市長	議案第35号 堺財産区特別会計補正予算(第1号)	市長	議案第48号 兵庫県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の増減及び規約の変更
市長	議案第36号 C A T V事業特別会計補正予算(第1号)	市長	議案第49号 財産の譲与(旧洲本保育所)
市長	議案第37号 介護保険特別会計補正予算(第2号)	市長	議案第50号 財産の譲与(水産資源育成施設)
市長	議案第38号 後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	市長	議案第51号 公の施設に係る指定管理者の指定(高田屋嘉兵衛公園)
市長	議案第39号 介護サービス事業会計補正予算(第1号)	市長	議案第52号 過疎地域自立促進計画の変更
市長	議案第40号 下水道事業会計補正予算(第2号)	市長	議案第53号 人権擁護委員候補者の推薦
市長	議案第41号 土地取得造成事業会計補正予算(第1号)	市長	議案第54号 一般会計補正予算(第3号)
市長	議案第42号 職員の給与に関する条例の一部改正	意見書案第1号	新たな過疎対策法の制定を求める意見書
市長	議案第43号 職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正	意見書案第2号	ゴルフ場利用税の堅持を求める意見書
市長	議案第44号 土地開発基金条例を廃止する条例制定	意見書案第3号	防災・減災・国土強靱化緊急対策事業等の事業期間延長を求める意見書
市長	議案第45号 印鑑条例の一部改正		

11月臨時市議会 議決結果一覧

全員賛成の議案等

提出者	件名
市長	議案第31号 水産資源育成施設の設置及び管理に関する条例の廃止
市長	議案第32号 財産の譲与(旧鮎原診療所)

※表記は、正式な名称ではありません。



「道の駅」の早期実現などを
要望

先田 正一（公明党）

観光振興

Q 本市にも「道の駅」を、との声が多くあるが、市の方針は。

A 地域活性化拠点として、高田屋嘉兵衛公園の「道の駅」への登録を目指す。登録を目指すに当たり、現在、「道の駅」の企画提案に応募している。市街地における「道の駅」の設置は、今後の検討課題である。

（産業振興部次長）

Q 深日洲本フイナーの今後の運航は。

A 次年度は、国の地方創生推進交付金が活用できる最終年度である。サイクリストにも人気が高く、岬町と協議の上、引き続き

運航する考えである。

（企画情報部長）

公営住宅と
市街地整備

Q 公営住宅連帯保証人制度の改正は。

A 兵庫県では、令和2年4月より県営住宅入居時の保証人を廃止するが、緊急連絡先の提出を求める方針である。市営住宅では、他市の動向なども注視し決定する。

（都市整備部長）

Q 公営住宅の空き室の活用は。

A 今後、他市の事例を参考にし、活用の研究に努める。（都市整備部長）



▲「道の駅」を目指す高田屋嘉兵衛公園

Q 公設市場の今後

A 入居店舗には退去いただくことで現在、協議を進めている。（産業振興部参事）

（産業振興部参事）

Q 公設市場の今後

A その他、福祉政策、介護予防の充実、糖尿病重症化予防について質問しました。

受援計画の策定の必要性和受援体制整備の効果は。



▲ボランティア受け入れ（平成16年 台風23号災害）

平成16年の台風23号災害の被災経緯や、被災地支援で派遣した職員の報告から鑑みても、事前準備を行うことでスムーズな支援の展開が図られると考える。

そのため、近年、自然災害により発生した大規模停電や大鳴門橋や明石海峡大橋の通行止めなどの経験を踏まえ、一つの市域だけではなく、島全体

が被災した場合の受援体制の必要性も考慮した受援計画の策定に取り組みたい。（総務部長）

首都圏におけるアンテナショップの開設目的と運営効果

アンテナショップは、本市の豊かな特産品の販売や、移住定住・企業誘致などを推進するための本市の魅力発信機能と、首都圏と本市の距離を縮める役割を担う施設として開設している。

運営効果は、首都圏や阪神間での販売力の強化や、大手企業とのコラボによる新たな特産品開発による商品力の向上があげられる。

また、テレビ、ラジオ、雑誌など、本市が把握しているだけでも、80以上のメディアに取り上げられ、広告換算費で7000万円以上のPR効果があったもの

と考える。（企画情報部長）



早期、受援計画の策定を要望

福本 巧（宙）

早期、受援計画の策定を要望

Q 受援計画の策定の必要性和受援体制整備の効果は。

A 平成16年の台風23号災害の被災経緯や、被災地支援で派遣した職員の報告から鑑みても、事前準備を行うことでスムーズな支援の展開が図られると考える。

（総務部長）

Q 首都圏におけるアンテナショップの開設目的と運営効果

アンテナショップは、本市の豊かな特産品の販売や、移住定住・企業誘致などを推進するための本市の魅力発信機能と、首都圏と本市の距離を縮める役割を担う施設として開設している。

運営効果は、首都圏や阪神間での販売力の強化や、大手企業とのコラボによる新たな特産品開発による商品力の向上があげられる。

また、テレビ、ラジオ、雑誌など、本市が把握しているだけでも、80以上のメディアに取り上げられ、広告換算費で7000万円以上のPR効果があったもの

と考える。（企画情報部長）



高校生が往復とも利用できる
公共交通に改善を

間 森 和 生 (日本共産党)

新洲本市総合戦略

Q 来年度からの「新総合戦略」策定にあたり、高校生や大学生、高齢者活躍の戦略は。

A 若者らしい視点と柔軟な発想を具

公共交通の
現状と課題

Q 10月改定内容は。

A 運賃の半額を助成するバス利用促進事業を開始。11月末の申請者は626人。

体的な形としてアウトプットできる環境を整えていきたい。また、高齢者にもコミュニティ活動やボランティア活動への参加とともに、まちづくりの担い手として活躍していただく機会を増やしたい。(企画情報部長)



▲改善の声が聞かれる路線バス

上灘・沼島線は沼島汽船場前まで延長し、利用者は6割増。高速バス三宮〜西浦線のフローズド・ドアの解消では、徐々に利用者が増えている。(企画情報部長)

Q 高校生が往復ともバスで通学できるように検討は。

A 増便・ダイヤ改正などバス事業者とも協議をしている。

Q 路線バスの充実について、南あわじ市とも協議し、新たな施策を検討していきたい。

A 淡まで路線を延伸し、乗り継ぎの改善を。交通事業者と協議をしたい。(企画情報部長)

Q 路線バスや高速バスを、陸の港西

A 淡まで路線を延伸し、乗り継ぎの改善を。交通事業者と協議をしたい。(企画情報部長)

Q 淡まで路線を延伸し、乗り継ぎの改善を。

A 交通事業者と協議をしたい。(企画情報部長)



ワンチームで、子育てに
やさしいまちづくりを!

中 野 の 睦 子 (志)

子育てサポート

Q 本市には子どもの遊び場や公園の遊具などが少ないとの声が多いが。

A 防災公園では乳

Q 幼児対象の滑り台やスプリング遊具があり、安全に遊んでもらえるよう遊具の点検などを行い、適切な管理に努めている。

A 大浜公園には遊具の設置は考えていないが、豊かな自然を楽しんでほしい。高田屋嘉兵衛公園には芝生広場や新たに設置した滑り台、温浴施設などがあり、お子様連れにはゆっくりと滞在いただける施設である。(産業振興部長)

Q 市民憩いの場である市民広場では、官民問わず多くのイベントが開催され、芝生広場での飲食や休憩もおすすめ。新たな遊具の設置については、市内の各施設とも、近年保護者などの安全意識の高まりから施設管理者としての責任が重く、設置については、慎重に検討したい。(都市整備部長)

Q 魅力的なふるさと製品の開発、発信

A 新しい返礼品とアンテナショップの展開は。

Q BEAMS JAPANとのコラボ

市民憩いの場である市民広場では、官民問わず多くのイベントが開催され、芝生広場での飲食や休憩もおすすめ。新たな遊具の設置については、市内の各施設とも、近年保護者などの安全意識の高まりから施設管理者としての責任が重く、設置については、慎重に検討したい。(都市整備部長)



▲New ふるさと納税返礼品 by BEAMS JAPAN



健康寿命を延ばし、元気に生活できる施策の展開を！

近藤 昭文 (日本共産党)

健康増進事業

Q 健康で生き生きと生活ができるよう、健康寿命を延ばす取り組みは。

A いきいき百歳体操、住民主体の一般介護予防事業、特定健診やがん検診などを実施している。

Q かみかみ百歳体操の普及や経験は。

A 現在69グループが、口腔機能の維持・向上を目指し、DVDを見ながら15分間、首や肩のストレッチ運動、口の周りや舌の運動などを実施。利用者からは、むせにくくなった、飲み込みがしやすくなったなどの声があり、誤嚥性肺炎の予防

につながらると言われている。

Q フレイル予防・対策の意義、取り組みは。

A 適度な運動と栄養バランスの取れた食生活、社会活動への参加が重要。いきいき百歳体操や地域のサロン、高齢者の通いの場などで予防健診を実施している。

Q 観光客が気兼ねなく観光地巡りをしてもらえるよう、屋外でのトイレ表示やパンフレットへの表示の検討を。

観光の振興

Q 観光客が気兼ねなく観光地巡りをしてもらえるよう、屋外でのトイレ表示やパンフレットへの表示の検討を。



▲老人クラブでの健康相談事業

A 来年、淡路花博20周年記念花みどりフェアが開催予定なので、今後見直しが必要と認識している。パンフレットではトイレ表示に留意する。

Q 来年、淡路花博20周年記念花みどりフェアが開催予定なので、今後見直しが必要と認識している。パンフレットではトイレ表示に留意する。

Q 来年、淡路花博20周年記念花みどりフェアが開催予定なので、今後見直しが必要と認識している。パンフレットではトイレ表示に留意する。

農業



新たな魅力ある農業振興策、つくり育てる漁業策を

片岡 寛 (日本共産党)

Q 洲本市の農家の耕地面積、平均所得は。

A 平成27年の一経営体当たりの耕地面積は約0.9ヘクタール。農業所得は、全国的な統計データとなるが、平成30年で露地野菜経営では作付延べ面積が0.5〜1ヘクタールの農家で約200万円。1〜2ヘクタールの農家で約440万円の繁殖牛経営では、繁殖雌牛飼養頭数が10〜20頭の農家で約340万円となっている。

Q 農業を重要な産業と位置付け、様々な支援策があるが、市独自の支援策は。

令和元年度 洲本市 農政課関係 事業パンフレット

洲本市 農政課

Q 地域の担い手応援事業や共同機械導入支援事業などの市独自の機械導入への支援。国の畜産クラスター事業（大規模牛舎や堆肥舎の整備）にも島内でいち早く取り組んだ。また、農業研修生の滞在施設を市が準備している。

Q 洲本市の主要生産品に力を注ぐと同時に、魅力ある特産品創りが重要だと思う。先日、副市長は葉っぱ

Q 洲本市の主要生産品に力を注ぐと同時に、魅力ある特産品創りが重要だと思う。先日、副市長は葉っぱ

A 葉っぱビジネスは地域の資源をうまく捉えて確固たるビジネスにまで発展させた。その着眼点と努力が素晴らしい。消費地をターゲットにし、商品を売ってビジネスに変えるということは、非常に勉強になった。

Q 葉っぱビジネスは地域の資源をうまく捉えて確固たるビジネスにまで発展させた。その着眼点と努力が素晴らしい。消費地をターゲットにし、商品を売ってビジネスに変えるということは、非常に勉強になった。

Q 葉っぱビジネスは地域の資源をうまく捉えて確固たるビジネスにまで発展させた。その着眼点と努力が素晴らしい。消費地をターゲットにし、商品を売ってビジネスに変えるということは、非常に勉強になった。



中心市街地の活性化と
連携の強化を！

木戸 隆一郎 (「志」)

Q 旧アルファピアのリノベーションについて、整備内容や主体、期間などは。

A 老朽箇所の改修と、飲食やイベントが開催可能な施設への改修を検討。花みどりフェアが開催される来年秋を目標したい。工期短縮やよりよいデザイン、スムーズな運営など、民間からアイデアを引き出せるような方法で実施する予定である。(企画情報部長)

Q 岩手県紫波町のオガールプロジェクトでは、計画している立地など類似点もある。それらを参考に、民間の融資や出資



▲今秋にリノベーションが予定されている旧アルファピア

を視野に入れ、より民間目線で事業に取り組んでは。全国にある事例を参考にしたい。(企画情報部長)

A し尿処理施設に不要となり、その設備に係る維持管理や補修の経費が削減される。(市民生活部長)

Q 機能が類似するし尿処理施設と下水処理施設を統合した場合のコストメリットは。

A し尿処理施設に不要となり、その設備に係る維持管理や補修の経費が削減される。(市民生活部長)

Q ある財源の中で、人口減少や限りの両施設を維持管理していくと費用が膨大となる。機能を統合してはどうか。

A 機能の統合は経費削減につながる有効な手段。早急に実施すべく、既に他の自治体の状況調査や国県の関係機関と調整を行うなど、必要な準備を進めている。(市民生活部長)

Q 「たかたクリニック」からの事業提案はどのような内容で



持続可能な
地域医療体制の構築を

笹田 守 (「志」)

診療所業務

Q 鮎原診療所が、令和元年9月末に閉鎖された。11月の臨時議会に、公募型プロポーザルを経て施設を「たかたクリニック」へ譲与する議案が上程され、可決された。プロポーザルの公募条件は。

A 医療法人格を有する、直近5年以上の経営実績がある、施設では外来の内科診療や訪問診療も行う、週5日25時間以上診療する、10年以上継続して診療を行う、令和2年4月1日までに開業することなどである。(健康福祉部長)

Q 「たかたクリニック」からの事業提案はどのような内容で

A 経営状況の悪化以外にも医師確保の問題、医療スタッフの高齢化、患者の減少など



▲入院業務が休止される五色診療所

あったか。

A 現在行っている外来診療のほか、訪問診療、通所リハビリテーション、特定健診、校医などを実施することのことである。(健康福祉部長)

Q 入院休止の時期は。

A 令和2年3月末をもって休止とする。(健康福祉部長)

五色診療所

Q 例議会の答弁で五色診療所の見直しも触れたが、入院休止の判断に至った理由は。

その他、公共交通について質問しました。

平成31年3月定

(健康福祉部長)



人口減少・少子高齢化に
「そなえる」行政を!

小野 章二 (志)

教育行政

Q 第2期洲本市教育振興基本計画の基本的な考えは。

A 「郷土(ふるさと)の愛の醸成と次世代を担う人材の育成」を基本理念とし、ふるさと洲本を愛し、子どもたちが自ら主体的に未来を切り開く力を身につける教育を推進。

求められる資質、能力を持つ子どもたちを育む教育施策に取り組んでいく。(教育長)

財政改革

Q ケーブルテレビ施設更新事業の取り組みと展望は。

A 光ファイバーケーブル網を市内全域に敷設し、高速インターネットも利用できる環境に整備。現在では、

10メガタイプと100メガタイプの2つのサービスを提供している。難視聴地域のデジタルデバインド(情報格差)解消のため、引き続きケーブルテレビ施設の適正な維持管理と、安定したサービスの提供に努める。(情報企画部長)

行政改革

Q シルバー人材センターのマネジメントの実態は。

A シルバー人材センターの会員がやや減少傾向で、高齢化が進行している。市としては、運営費や事業費などの経費の一部に

対し財政支援を行い、国や県からの有益な情報提供に努めている。(産業振興部参事)



持続可能な洲本のために
先端技術の更なる活用を

高島 久美子 (宙)

放課後児童クラブの運用

Q 地方分権一括法の改正による国の基準緩和によって、放課後児童クラブの職員を1名体制にする予定はあるか。

A 本市においては、各クラブとも数十人が利用しており、子どもたちを安心・安全に預かるために、また、放課後の遊びや生活の場の提供を通じて子ども

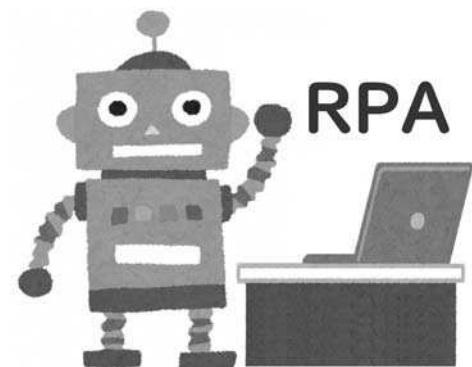
※RPAの活用

Q 地方自治体戦略2040では、スマート自治体への転換を促す考え方を示しているが、本市の見解は。

A 都道府県と市町村の垣根を越えて専門職員を柔軟に活用する仕組みが重要ポイントと考える。(総務部長)

今後の地方行政の動向に対応できるよう、先端の技術導入に積極的に取り組む必要があることから、これらの情報を収集し、さらに知見を広めていく。(総務部長)

※RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション) : 事務系の業務を自動化するシステム





安心して暮らせる
地域づくりへの取り組みを

清水 茂 (宙)

Q 認知症高齢者等個人賠償責任保険事業に取り組んでみてはどうか。

A 国の動向などを注視することも、先進自治体の取り組みなどを調査研究してまいる。 (健康福祉部長)

Q 淡路島地域では救急安心センター事業 (#7119) に関しての認識は。

A 総務省消防庁が提唱する事業で、ケガや病気をした時、共通の短縮ダイヤル「#7119」を使用し、医師、看護師、相談員などにより、救急医療相談と医療機関案内を行う電話相談窓口である。事業のスケールメリット、相談スタッフ

確保の面から、都道府県単位や広域的な圏域での導入が望ましい事業であると認識している。 (企画情報部長)

Q 淡路島地域でも運用されている、ことも医療電話相談事業 (#8000) とはどのようなものか。

A 全国で実施されており、小児科医

師・看護師などから子どもの症状に応じた適切な対処法や、受診アドバイスが受けられる。兵庫県では、平日・土曜日は18時から翌朝8時、日曜・祝日・年末年始は8時から翌朝8時までとなっている。 (健康福祉部長)

救急車は地域の限られた救急資源



(出展：総務省消防庁HPより)

地域での見守りと支援

Q 定期巡回・随時対応型訪問介護看護とはどのようなサービスなのか。

A 日中・夜間を通じて、訪問介護と訪問看護の両方を提供し、定期巡回と随時の対応を行う介護サービスの一つである。 (健康福祉部長)

Q 定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスの基盤整備及び事業所の指定については。

A 早期の導入が望ましいのではないかと考えている。現行の介護保険事業計画の見直し、次期第8期計画への反映などについ

幸福を実感できる
地域社会を目指して

狩野 揮史 (公明党)

て、現在検討を重ねている。 (健康福祉部長)

Q 住民が地域活動に参加しやすいような環境づくりとして、本市での公的支援は。

A 老人クラブへの支援による高齢者の生きがいづくり、洲本市社会福祉協議会との連携によるボランティア活動への支援を行っ

ている。

いきいき百歳体操については、既存グループに対する体力測定や定期的な交流会の開催などの継続支援とともに、未実施地区への普及啓発としてPR資料の作成・配布、体験会の開催などの支援を行っている。 (健康福祉部長)

いつまでも元気に暮らすために



行政視察

市議会では、議会が閉会中、それぞれの委員会が所管する事業について、先進自治体を視察し、調査をしています。

総務常任委員会

対話によるまちづくりをめざして

・11月8日：大分県大分市

大分市は県のほぼ中央部に位置し、人口48万人の中核市です。県の中心地として発展してきましたが、平成28年をピークに人口は減少局面を迎え、課題解決への対応が求められるようになりました。こうした認識のもと、市内13地域において住民の代表者などで構成する地域ビジョン会議を設置し、住民と行政とで対話のまちづくりが始まりました。深まった議論は、各地域の個性を生かした魅力ある「地域まちづくりビジョン」としてまとめられ、市長に提言され、市政に反映されています。



教育民生常任委員会

文教の府・子育て日本一をめざすまち

・11月8日：茨城県水戸市

近世の教育遺産群として日本遺産に認定され、弘道館の魁の精神を受け継ぐ「文教の府」にふさわしい水戸市では、水戸ならではの魅力ある教育を推進しています。

・11月8日：茨城県龍ヶ崎市

子育て環境日本一を目指す龍ヶ崎市。2016年「子育て応援都市」を宣言し、市民参加型の子育て応援プロジェクト「子育てたつのこアクション」を始動させると共に、電子母子手帳サービス「たつのこ たっち」を導入し、妊娠から出産、育児までをフルサポートしています。



産業建設常任委員会

地元の良さと特産品を

・10月28日：千葉県木更津市

木更津市の観光ブルーベリー園協議会では、省力的な「ど根性栽培」を導入。共同で観光摘み取り7園の整備を進め、夏には観光客が2000名ほど訪れています。ブルーベリーで市内の6次産業を支えていきたいとのこと。

・10月29日：千葉県柏市

柏市の手賀沼アグリビジネスパークでは、柏市と推進協議会がタイアップし、道の駅しょうなんには、新鮮な野菜のほか、人気のカブや苺のソフトクリームが並び、多くの客が絶えません。また、手賀沼マラソンなどのイベント、新施設の建設で手賀沼を元気にしようとしていました。



公共交通、診療所などで意見交換



五色地域町内会長会と共催

11月22日、五色地域町内会長会と共催で第19回議会報告会を開催しました。今回は都志・鮎原地区を中心に開催し、59名が参加しました。

議会報告会では9月定例市議会と、11月21日に開催された臨時市議会の議案や



審査の内容について各委員から報告しました。その後、地域別に3グループに分かれて懇談会を開催。参加者からは地域の課題や市政について、また議会への要望などの発言があり、議会との意見交換を行いました。



こんな意見が出されました

- コミバスもいいが、玄関から玄関のような個人にあった運行はできないものか。
- 洲本も都志も人口が減っている。働く場所が必要だ。Uターン施策が必要では。
- 五色診療所の医師の体力面が心配。早めに医師の確保をしてほしい。
- 旧診療所に「たかたクリニック」が来るが診療内容は。

- 3市のコミバス路線のつながりなどはないのか。高校生の通学が不便。
- 空き家がたくさんある。利活用の取り組みや、定住のための入居支援などは。
- 鮎原診療所の民間譲渡で、災害時の拠点がなくなることが心配。
- 若者に対するきめ細かいソフト面での支援をお願いしたい。
- 町内会長にすべてを担わせるのは無理があるのでは。



3月定例市議会の予定

2月21日(金) 常任委員長会	3月12日(木) 予算審査特別委員会
2月25日(火) 議会運営委員会	3月13日(金) 予算審査特別委員会
議会報編集特別委員会	3月16日(月) 常任委員会
2月28日(金) 本会議(第1日)	3月17日(火) 常任委員会
3月6日(金) 本会議(第2日)	3月18日(水) 常任委員会
3月9日(月) 本会議(第3日)	3月19日(木) 予備日
3月10日(火) 本会議(第4日)	3月23日(月) 本会議(第5日)
3月11日(水) 予算審査特別委員会	3月24日(火) 本会議(第6日)



出されたご意見は、しっかりと行政に伝え、改善を求めています。

新年あいさつ

議長 木下 義寿



新年、あけましておめでとうございます。市民の皆さまには、輝かしい新年を健やかに迎えのとお慶び申し上げます。

副議長 氏田 年行



さて、少子高齢化社会において、福祉や医療のあり方、地域防災力の強化、地方創生の推進など、議会が果たすべき役割はますます大きくなってまいります。

本市においても、地域の特色を生かしつつ、安全で安心な住みよいまちづくりのために、議員一人ひとりが役割を十分に果たし、市民の皆さまの声を市政に反映させることができるよう、議会活動を続けてまいりたいと存じます。

今後とも市民福祉の充実と市政の発展に寄与するため、二元代表制の一翼を担う議会として、皆さまのご期待に沿うように努力してまいります。

結びに、市民の皆さま方のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶と致します。

議員研修

はやぶさ・はやぶさ2と宇宙創成の神秘、そして科学による世界平和

米国・ブラウン大学
上級研究員
JAXA「はやぶさ」
共同研究者

廣井孝弘氏

◆10月23日

先生が深く関わられた「はやぶさ計画」のビデオ



上映にはじまり、研究分野である隕石や小惑星、宇宙風化、宇宙の歴史などのご講演をいただきました。

これからの議員活動に求められること

兵庫県議会副議長

浜田知昭氏

◆11月21日

議会改革の取り組みや政策提案条例、議会だよりなどについてご講演いただき、住民から信頼される議会などについて意見交換を行いました。



編集後記

近代オリンピックの父・クーベルタンが唱えた精神は、「スポーツを通して心身を向上させ、文化・国籍などの違いを乗り越え、友情・連帯・フェアプレーの精神をもって、平和でより良い世界の現実に貢献すること」でした。

◆昨年「ワンチーム」で感動を与えたラグビーチームのように、スポーツには人を元気にする力があります。ルールがわからないにわかファンでも必死に応援できるのです。◆本市は毎年、トップアスリートが、すもとっ子たちにスポーツ教室などの活動を通して「本物の感動」を伝え、「夢と希望」を与えてくれています。

◆暑さの中で熱戦が繰り広げられるオリンピック・パラリンピック。出場するアスリートに力強い声援を送りませんか。

(間森)

産業建設任委員会

実施日：令和元年11月1日(休)
団体名：新規就農者

テーマ 新規就農者の現況と課題

島外各地から洲本市内に移住して就農されている皆さんに集まっていただきました。就農のきっかけ、就農してからの苦労などについて意見交換をしました。

三崎雄太さん

移住して就農するには住まいが必要だがない。住まい・農地・器具など最初の投資が計り知れない。近くに農業委員の方と世話役がいるといい。

辻江徹朗さん

牛の繁殖をやりたくて親方を紹介いただいた。補助金もいろいろあるが条件をクリアするのは大変。地域の人ともしっかりと交流の場があったら。

意見交換会

を開催しました



井上理事長

移住相談はもとより、定住されてからのフォローに力を入れている。不安のある方には、先輩移住者の協力を得て適切なアドバイスができるよう心掛けている。

淡路島は移住先として人気が高いけど、住む家となると情報提供だけにとどまっている。

行政として何か良い仕組みを作れないか。

移住するというより、引っ越し感覚で淡路島に住まわれたらどうですかと、視点を変えてアピールしている。

総務任委員会

実施日：令和元年11月14日(休)
団体名：特定非営利法人あわじFANクラブ

テーマ 淡路島への移住・定住の現状



赤松専務理事

あわじFANクラブは、平成18年設立で、淡路県民局から移住・定住を目的としたあわじ暮らしの総合窓口として業務を受託。年間1000名程度の相談を受け付けています。

教育民生常任委員会

実施日：令和元年11月14日(休)
団体名：洲本市PTA連合会

テーマ PTA活動について

PTAは保護者と教職員の会で、家庭と学校が協力し合って子どもたちの教育を進めようと設立されており、それぞれの学校単位で活動しています。

小道副会長

子どもがグリーンベルト上を安心して通学できるように。理科の実験道具など備品も新しくしてほしい。



佐竹会長

連P役員として参加する会合は有意義だが、単Pに持ち帰り報告する場がない。幼保・小・中・高校間で、横のつながりがなく情報が入らないので何とかしたい。